



船木小 実践④	生活科『おいもを育てよう』『おいもかんしゃパーティーをひらこう』		
実施日時	6月～12月	実施場所	芋畑・教室・ランチルーム
対象	1. 2年生	指導者	担任 ・ 地域の方
視点	・食事の重要性 ・感謝の心 ・心身の健康 ・社会性 ・食文化 ・食品を選択する能力		
ねらい	芋の苗植や収穫の活動を通して、農作業の楽しさや大変さを経験する。 『おいもかんしゃパーティー』を通して、地域の方との交流を図り、感謝の気持ちを伝える。		
内容	<p>6月5日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方の指導を受けながら芋の苗植を行う。 <p>11月6日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方の指導を受けながら芋の収穫を行う。 <p>12月4日</p> <p>1. 2校時 スイートポテトをつくる。</p> <p>3. 4校時『おいもかんしゃパーティー』を行う。</p> <p>芋のお世話を下さった方、登下校を見守って下さっている方など地域の方14名をお招きした。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① はじめのことば ② うたとおどり『パプリカ』 ③ スイートポテトをいただく ④ おれいの手紙 ⑤ おわりのことば 		 
児童・ 地域の方・ の感想	<p>○児童の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おいしいお芋が出来てうれしかった。 ・地域の方がよろこんでいたのでうれしかった。 ・自分たちでつくったスイートポテトはおいしかった。 <p>○地域の方の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このような会に招待してもらい、とても嬉しかったです。 		
成果と 課題	<p>○芋の苗植や収穫などを実際に体験したことによって、喜びや大変さを実感することができた。</p> <p>○畑や苗の準備など、地域の方が協力してくださっていることを理解させ、『おいもかんしゃパーティー』を子どもたち自身で計画させることによって、子どもたち自身も地域の一員であることを意識させる活動となった。</p> <p>○芋畑がもう少し学校に近ければ子どもたちを日々の芋畑の管理に携わらせることができた。</p>		